

市民



フロンティア

2014年6月25日発行 通巻 73号



「人」と「地域」を結ぶ橋渡し役を担う活動を目的とした

神戸市立六甲道勤労市民センター内

生きがい活動ステーション オープン！

2014 年 6 月 2 日、神戸市六甲道勤労市民センターロビースペースの一角に「生きがい活動ステーション」がオープンしました。昨年度にコンペを経て選定された神戸市指定管理事業の一環で、地域活動の担い手を増やすことを目的に設置され、公益財団法人神戸いきいき勤労財団と CS 神戸が協働で運営します。

初日のオープニングセレモニーには、生きがい活動ステーションの活動説明のほか、ユーモアセラピストの耕笑園てつや氏をお招きし、トークライブも実施しました。ご自身が阪神・淡路大震災のときに経験された避難所でのエピソードや、ご家族の介護の話を通じ、地域の中で「生きがい」や「役割」を見つけることの大切さやおもしろさについて語っていただき、笑いの絶えない 90 分間となりました。

生きがい活動ステーションでは、地域のボランティア情報やコミュニティの情報を掲示・配架するほか、講座や交流サロンも月 2 ～ 3 回のペースで実施します。また、自分でグループを立ち上げたいという方を対象に、ニーズ調査や持ち込み企画を後押しする「トライやるサポート」の仕組みも考案中です。まだ始まったばかりですが、様々な人や情報や社会資源の橋渡しとなり、「自分もやってみよう！」という人が一人でも増えてほしい、そのお手伝いができればと願っています。（飛田）



生きがい活動ステーション・スタッフ/（左から）伊藤、飛田、正延、寺井



生きがい活動ステーション

〒657-0038
神戸市灘区深田町 4-1-39 メイン六甲 4 階
神戸市六甲道勤労市民センター内
TEL 078-857-3022 FAX 078-857-3023
E-mail ikigai@cskobe.com
<http://www.kobekinrou.jp/shisetsu/rok-koumichi/ikigai/>
開館時間 9:30～18:30
(木・日・祝休み)



2014 年度理事会・総会報告

5 月 25 日（日）午前 10 時から 12 時、2014 年度通常総会が、CS 神戸事務所にて開催されました。

出席者は、足立勝、金芳外城雄、佐藤友美子、立田英雄、松下忠義、當間克雄、安元邦夫、今田忠、岡本仁宏、佐野末夫、長谷川京子、小室邦夫、藤原和男、中村順子、坂本登で書面による出席者、中村厚子、荒巻順一、星野裕志を合わせ、計 18 名で総会が成立し審議の結果、以下の議案が可決・承認されました。



総会で議案報告をする中村理事長

■第 1 号議案 2013 年度事業報告および決算の件

中村理事長から以下の報告がありました。

現事務所に移転してから 3 年、可視化の大きな成果は認定 NPO を取得したことです。クリアな経営を問われているなか、スタッフ一丸となり認定を取得したことで果たすことができました。2013 年度は、新たな試みとして、BRANCH 神戸学園都市内に「まちづくりスポット神戸」をスタートさせることができました。この事業は、企業と NPO の協働事業で、指定寄付の手法で運営しており、新しい CSR（企業の社会的責任、英語：corporate social responsibility）のモデルケースとなります。また、6 月 2 日に神戸市立六甲道勤労市民センターにオープンする「生きがい活動ステーション」は、神戸いきいき勤労財団との協働事業者となりコンペ提案し見事に採択されたものです。その他には、小ホールでは第 3 期指定管理を受託。管理評価においても高評価をいただくことができました。

個人と組織については、引き続き総合研修を行っていきながら職員の意識向上につなげていきたいと考えています。

会計面では、経常収益が 75,124,507 円、経常費用が 72,698,256 円となり、当期正味財産増減額は 2,426,251 円となりました。

監事より、5 月 13 日に監査を行った結果、適切に会計処理がなされているとの報告がなされました。

■第 2 号議案 2014 年度事業計画および予算の件

今年度は、振り返ることを重点とした一年にしていきたいと考えており、兵庫地域密着型中間支援組織の「これまでの 20 年」検証に取組み、CS 神戸の成果と課題を明らかにするなかで、次への事業展開につなげていきたいと思っています。新地域支援事業の枠組みを最大限活用し、元気高齢者 28 万人がいる神戸市へのモデル地区に関する提言やワラビー・社会貢献塾・まちスポ・六甲道生きがい活動ステーション等での相談・研修・サロン・グループ立ち上げ・NPO 起業を系統的に展開し、地域の中で活動する人々を応援していきます。もうひとつの新規事業として、六甲道勤労市民センターで「生きがい活動ステーション」をスタートさせますが、ここでも地域の人が自分の強みを生かし活躍できる場を提供していきたいと考えています。

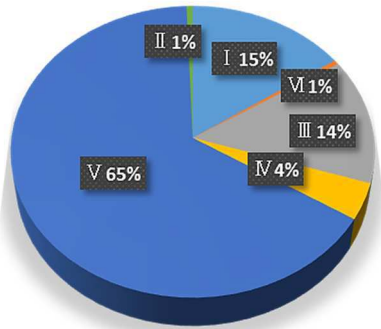
2014 年度の予算は、経常収益が 86,972,476 円、経常費用が 85,684,183 円となり、経常増減額が、1,288,293 円となり、2014 年度予算は近年でもっとも多額な予算となりました。



各プロジェクトリーダーからの報告

2013 年度 決算報告(2013.4.1~2014.3.31)

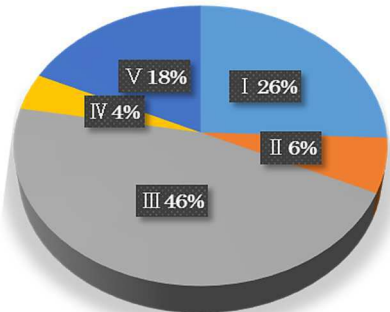
<収入 75,124,507円>



<収入 75,124,507 円>

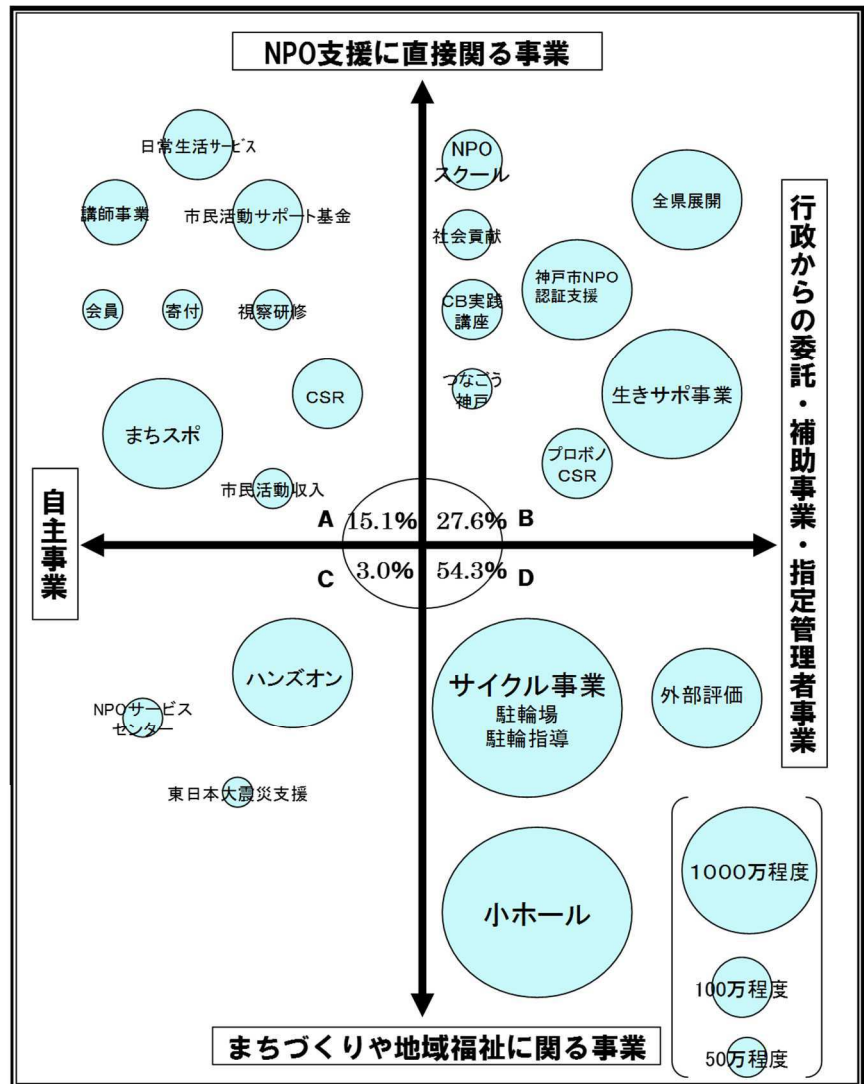
I 会費・寄付金	15%
II 市民活動収入	1%
III 公的補助金	14%
IV 民間助成金	4%
V 事業収入	65%
VI その他	1%

<支出 72,698,256円>



<支出 72,698,256 円>

I 市民活動推進事業	26%
II ネットワーク事業	6%
III まちづくり推進事業	46%
IV 福祉推進事業	4%
V 一般管理費	18%



※事業内容

【市民活動推進事業】

生きがいごとサポートセンター神戸東、神戸市 NPO 認証支援事業、全県展開事業、市民活動サポート基金、ハンズオン・インターンシップ、研修関係事業（社会貢献塾/CB 実践講座/NPO マネジメントスクール）

【ネットワーク事業】

まちづくりスポット神戸管理運営事業、CSR プロジェクト/プロボノ事業、つなごう神戸運営事業、東日本大震災復興支援、ネットワーク事務局（東灘 NPO フォーラム）

【まちづくり推進事業】

JR 住吉駅前駐輪場管理運営業務、東灘区市民センター小ホール管理運営業務

【福祉推進事業】

トータルケアシステム/介護予防日常生活支援総合事業、介護サービス情報の外部評価・公表調査

2014 年度 理事会

第 1 回 理事会を開催

総会に先立ち、5 月 25 日（日）午前 9 時 30 分から CS 神戸にて今年度第 1 回目の理事会が開催されました。足立勝、金芳外城雄、坂本登、佐藤友美子、中村順子の 5 理事が出席、総会に提案する諸議案を審議しました。また、監事の松下忠義氏、當間克雄氏にも陪席いただき、2013 年度の監査報告をしていただきました。

プロジェクトレポート

New Project／震災 20 周年記念事業

「兵庫県における NPO 中間支援組織の 20 年」研究検証

今でこそ当たり前の存在となってきた NPO 中間支援組織ですが、阪神淡路大震災以前はないに等しく、この 20 年間で急成長し、兵庫県では 30 団体になろうとしています。

大震災以降どのような影響を社会に及ぼしてきたのか、150 万人のボランティアによる復興活動を平時の地域活動に定着化させ、社会課題の可視化や活動団体の創出、新しい公共人材育成、情報提供に相談事業等社会関係資本の構築に力を尽くしてきたことを、数量面からまた社会イノベーションの面からも考察したいと考えています。

特に、被災地で生まれ活動歴 10 年以上の団体に焦点を当て、創設者の志、ステークホルダーの変化、ネットワークの広がり、新しい協働のスタイル等、社会の価値観の変化を追う目次たてを企画中です。

プロジェクトメンバーは、宮垣元氏（慶応義塾大学教授）を委員長に、委員は相川康子氏・野崎隆一氏・野津隆志氏・山口一史氏・鬼本英太郎氏・中村順子が当たり、事務局は CS 神戸から独立事務所を立ち上げられた「オフィス YANAI」柳井敏郎氏が担当します。ひょうご安全の日推進事業から助成を受け、来春にブックレットを発刊予定です。楽しみにしてください。

（中村）

New Project／スマイル ♥ テッド基金

CS 神戸・前事務局、国枝氏の想いが詰まった基金です

「スマイル♥テッド基金」を創設しました。

昨年 12 月 31 日にご逝去された国枝哲男氏のご遺志により寄付された 50 万円を、「スマイル♥テッド基金」と命名し、国枝さんのように早期リタイアし地域活動に取り組む男性への励ましの助成金としました。お問い合わせは CS 事務局まで。（中村）

地域活動事業部／まちづくりスポット神戸

2013 年 12 月「BRANCH 神戸学園都市」内にオープン！

「まちづくりスポット神戸」（以下、まちスポ神戸）は、地域で暮らす人々の地域のための活動をサポートする目的で、商業施設「BRANCH 神戸学園都市」内に 2013 年 12 月オープン。大和リース株式会社と CS 神戸が協働で運営しています。

まちスポ神戸では、（1）交流スペースの運営（2）まちそだて講座の運営（3）大学・テナント会との連携という 3 本の活動を柱として、子育て支援事業も展開しています。

講座受講者や相談者は垂水区のみならず西区、須磨区などエリアを超え、まちスポ神戸に集い、開館日数 97 日間の来館者数は 1925 人にのぼりました。まちそだて相談 14 グループ、8 団体が会員登録し、毎週火曜日開催の親子ひろばには、133 組（271 名）の親子が参加しました。

また、子育て中の方向けやシニア層向け、地域活動者向けなど 6 講座を開講し、のべ 246 名が参加しました。特に、オープンに先駆け 2013 年 9 月実施したまちそだて講座（5 回連続講座）では、修了生がグループを形成し、まちそだて相談を通して支援した結果、3 団体が会員登録。地域活動を始める土壌づくりの事業とすることが出来ました。

大学連携では兵庫県立大学への図書館訪問や東北震災支援事業の共催事業を実施しましたが、2014 年度は、学生が参画できるような仕組みづくりに取り組み、他 4 大学 1 高専 1 専門学校へも働きかけます。併せて、地域住民の方々がつどい、つながり、そしてひろがる活動を応援する「はじめの一步」助成や、学生とまちスポ神戸周辺の大学・高校・専門学校の学生を中心に構成するサークルやグループを応援する「学生コミュニティ活動応援」助成をスタートし、活動支援の充実を図る計画をしています。（向山）



セミナーの様子



BRANCH 神戸学園都市（上）
まちスポ神戸（下）



地域活動事業部／JR 住吉駅前駐輪場

気持ち良く利用していただける駐輪場を目指した活動を

地域貢献活動のひとつとして、現在、駐輪指導業務に障がい者の方が有償ボランティアとして参加されています。駐輪場外の公道にめいわく駐輪している車両に対して、職員と一緒にマナー札を貼り付ける仕事です。5 月からはこれまでの仕事に加えて、駐輪場の緑化の一環として花への水やりもお願いしています。この花は、兵庫県からいただいたものと、セブンイレブン記念財団の助成を受けて購入したものや、職員が自宅から持ってきたものです。ゼラニウム、マリーゴールド、サルビア等々、障がい者の方からもらった水をたっぷり吸い込んで、色とりどりの衣装を着けた花々が咲いています。

道ゆく人の心が和むような駐輪場を目指していきます。

(岡本)



●数字で見る 2013 年度の駐輪場

項目	数値	前年比
売上額	27,959,450 円	▲0.3%減
延利用台数 (推計)	355,021 台	+0.4%増
料金未納延台数	5418 台	
料金未納延金額	489,440 円	
長期未納 (15 日以上) による撤去台数	35 台	▲2 台減
駐輪場外のめいわく駐輪台数 (1 日平均)	42 台	▲39.3%減
障がい者有償ボランティア延人数	329 名	+75 名増
付加サービス実施回数 ※ 5 月～3 月		
空気入れ貸し出し	769 回	
虫ゴム交換	21 回	
自前修理	5 回	
修理業者紹介	5 回	
雨よけカバー貸与	113 枚	
道案内	689 回	
置き傘貸し出し (※ 7 月～3 月)	37 本	



地域活動事業部／東灘区民センター小ホール

地域の方々にさまざまな学びの場を提供していきます！

2014 年度 地域文化活性化事業

開催月	テーマ／内容	回数	受講・参加料
8 月	伝統文化の楽器等に触れる ／子どもたちの挑戦	5 回	1,000 円
10 月	幼児、パパママの為に音楽会 ／地域の文化資源を発掘し活用	1 回	1,000 円 (お菓子付)
10 月	創作ダンスのワークショップ ／指導者へのワークショップ	2 回	1,000 円



2013 年 10 月に行われた指定管理選定評価委員会の審査で、地域のニーズをよく把握し、積極的に地域コミュニティの活性化を図り、地域の文化的な資産や可能性、将来目指すべき方向性を見据えた提案内容となっていると評価され、3 期連続で指定管理者に選ばれました。引き続き、地域に根ざした特徴あるホールに育てて行きます。

また、今年度新たにスタートする、地域文化活性化事業の展開では、以下のように基づき「学習・体験事業」「地域支援事業」を行います。

学習・体験事業

- ・ホールの特性を活かし、地域環境の中で、子どもたちに新しい発見をしてもらい、触れる事のできる文化芸術体験の「場」になるようにします。
- ・ワークショップを通じてプロの活動家との交流を図りながら、実際に楽器演奏などを体験し、その成果を演奏形式として発表します。
- ・日本の古くから伝わる伝統的文化に触れる機会を提供することで、次世代に継承して行くとともに保存と普及を目的に実施します。

地域支援事業

- ・地域での文化活動を行う人材の育成や地域の芸術団体の育成、地域文化の情報発信や交流などを行います。(兵頭)

市民活動事業部／生きがいごとサポートセンター神戸東

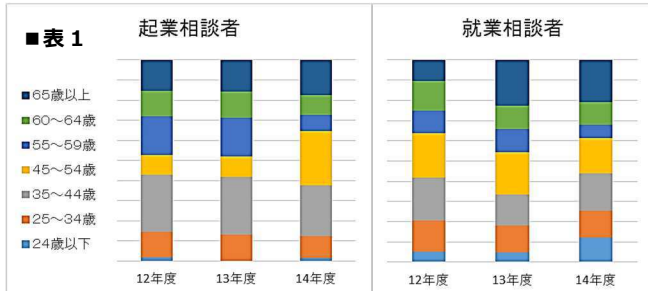
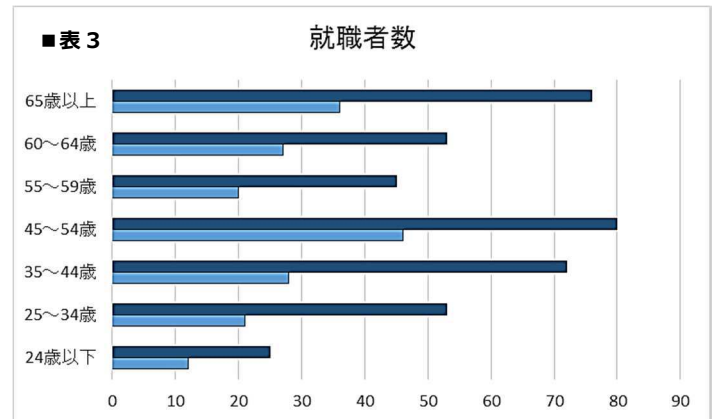
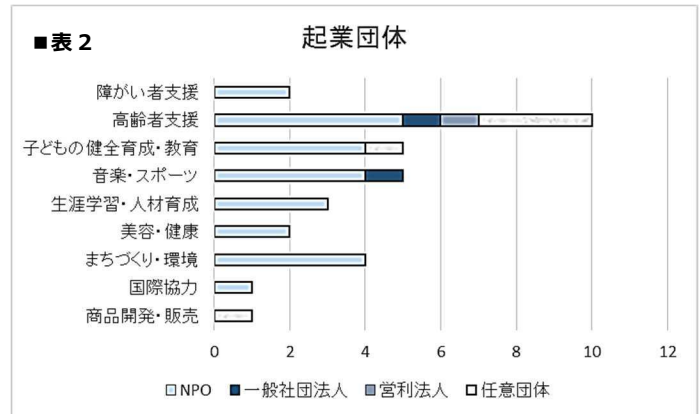
ワラビー 2013 年度・活動報告

ワラビーを利用いただく相談者の男女比は、毎年変わらずほぼ半々です。しかし、年齢層は時代背景に応じていろいろと変化があります(表 1)。今年度の起業の相談者に関しては、45～54 歳の壮年期層の希望者が大幅に増加し、コミュニティ・ビジネスを志す層が大きく広がってきたことが分かります。就業希望者の傾向としては、雇用市場による影響が大きく、今年度は若者やシニアの割合が増加しています。

2013 年度の起業成立団体は 33 団体で、その内訳は表 2 の通りです。例年と比較すると、障がい者や高齢者支援も直接支援よりも、より心豊かに暮らすための様々な支援を行う団体設立が目立ちました。また、音楽やスポーツも合わせると、子どもを対象とした事業数も大幅に増加しました。

就業に関しては、ワラビーの紹介による就職成立者が相談に来られた方の約 5 割となりました。(表 3)

2014 年度は生きサポ神戸東としての受託が満 10 年となりました。これまで培ってきた支援力をもとに、相談者の皆さんのために、という姿勢は変わらず、がんばっていききたいと思います。(狩野)



市民活動事業部／ハンズオン・インターンシップ

三菱重工業株式会社神戸造船所との CSR 協働事業



販売実習の様子

2 年目となった当事業は、1 年を通して受け入れたインターン数は 15 名(正式参加 10 名、見学・体験のみ 5 名、平均年齢 31 歳)となりました。正式参加者 10 名の内、2013 年度内に進路決定者は 6 名。昨年度と比較し、インターン受け入れ数は 2 倍、進路(一般就労又は福祉就労)が決定者は 3 倍となりました。少人数制で個々人の特性や課題にあわせた細やかな対応を行う研修の中で、販売・接客実習を通してチームで働く経験をすることで、自信をとりもどしていく変化が見られ、また、個人差はあるものの、コミュニケーションスキル等、就労に必要な能力の向上や基本的な社会ルールやマナーの習得にも一定の成果が見られました。(瀬光)

市民活動事業部／全県活性化事業

丹波地区のさらなる地域活性化を目指した取り組み

昨年度の「生きサポ全県展開事業」に引き続いての、兵庫県からの委託事業です。県内の生きサポ未設置地域におけるコミュニティ・ビジネス(CB)の起業・就業支援の拡充や、起業して間もない団体の定着促進など、CB の普及、活性化を目的とします。

CS 神戸は今年も丹波市を担当し、CB 推進員 1 名が現地の関係各所との連携のもと、相談やセミナー等を企画・実施します。

昨年度の振り返りから、今年度の中心課題は以下の 4 点とします。

1. 丹波市での CB 起業の増加および中間支援組織の設立支援
2. 兵庫県や丹波市からの新たな期待としての CB の定着化支援
3. 丹波市に新たに設置された丹波市商工会による起業家支援

窓口「チャレンジカフェ」との協働と調和

4. 先進起業家見学会の機会提供

実施に当たっては、地元の関係各所や昨年度ご協力いただいた方々とのさらなる緊密なコミュニケーションのもと、以下の視点を大切にしながら進めて行きたいと考えています。

- ① 地元の起業家支援が可能な人材の発掘・育成を視野に入れた講座の企画・開催
- ② 地元 NPO 団体のネットワーク化に向けた提案と働きかけ
- ③ 起業家支援に関わる地元の関係各所との間で、支援機能の位置づけや役割分担の明確化 (藤井)

市民活動事業部／新地域支援事業

元気高齢者の社会参加へ向けた人材養成プログラムを始動！

この事業は、2月12日に開催された「介護予防・総合事業 神戸フォーラム」(一般公開 180 名参加)で発表した研究会の提案をもとに、3月7日に研究会メンバーが神戸市を訪問し政策提言を行い、次のステップを踏みだしました。

提案の内容は、①生活支援コーディネーター、生活支援協議体の創出 ②地域資源リストの整備 ③「生活計画書」の案内 ④地域活動講座の実施 ⑤新たな地域支援事業の整備、というものです。

今年度では、実践に向けた活動を継続し、その検証と深化を進めていきます。特に元気高齢者の社会参加の観点から、行政や事業者と協働する新しい地域づくりを提案していきます。具体的には、「寝屋川あいの会」と連携し「地域支援を担う高齢者講座」を

上半期にスタートさせます。元気な高齢者を、新しい地域支援事業の担い手として養成していくもので、座学だけでなく事業所での実習もカリキュラムにいて実施します。地域での助け合いを自立的に進めていく担い手人材を育てるプログラムづくりの手始めの活動として計画しています。(小林)



「介護予防・総合事業 神戸フォーラム」の研究会メンバー」

市民活動事業部／市民活動サポート基金

地域活性が元気になる活動を応援しています！



理事長 宮脇三明 氏

3月24日(月)、2013年度第2回の選考委員会を開催し、以下の1団体への助成交付が決定されました。1996年度からこれまでに助成金交付を行った団体は、延べ110団体、総額36,496,000円となりました。(飛田)

- 団体名：NPO 法人神戸北神戸すこやかクラブ／代表者名：理事長 宮脇三明
- 事業名：子どもたちに地域の自然や民族文化を継承する事業
- 助成金額：100,000 円
- 活動概要

代表者の介護体験を踏まえ、現在介護中の家族に対し介護負担の軽減等に役立てばと「家族介護者のつどい」を始めました。また子どもたちに自然の中で遊びを通じて生活の知恵を学んでほしいと思い、「子ども自然体験塾」も実施しています。今回の助成金はその体験塾と、郷土誌「神戸山田ものがたり」の紙芝居作成費に充当し、子どもたちへ郷土の歴史を伝えていきたいと考えています。

市民活動事業部／研修関連事業

NPO マネジメントスクール／社会貢献塾を中心に実施

研修関連事業としては、2013年度と同様に「NPO マネジメントスクール」と「社会貢献塾」を中心に実施します。「NPO マネジメントスクール」では、NPO 職員や役員を対象に、神戸エリアと丹波エリアの2箇所で開催予定です。組織診断や経営分析の手法取得を目的に、ケーススタディを通じて「あなたならどうしますか？」のディスカッションを積み上げながら、NPO らしい経営のあり方を模索します。

前身の研修から数えると5年目の実施となる「社会貢献塾」は、主にシニア層の地域活動への橋渡しとして実施するプログラムです。生きがい活動ステーション運営事業と同じく、神戸いきいき勤労財団との協働事業となります。今年度は100名を超える修了生とのネットワークの仕組みを構築し、一人でも多くの担い手が生まれるようサポートできればと考えています。(飛田)



社会貢献塾 受講生全員で記念撮影

新人スタッフ紹介

4 月から CS 神戸のスタッフに仲間入りしました！

藤井 道雄(生きがいしごとサポートセンター全県展開事業)

CS 神戸のミッションに魅かれ、丹波市地域における CB 推進員として、非営利を基本に民間でも行政でもやらない課題の解決を行って地域をより良くしたいという丹波の人々を支援し、金銭的報酬よりも丹波の地域社会への貢献をして、お金に換えられない報酬を得たいと考えています。難局を乗り越えて継続的に活動を行う使命感や強い意志を持ち、一般的に保守的な人々・組織を巻き込み協力者にしていけるリーダーシップを発揮できたらと思います。

深田 達夫(まちづくりスポット神戸 コーディネーター)

まちづくりスポット神戸(略称：まちスポ)の深田達夫です。生育地は埼玉県(本籍は東京)ですが、これまで引越しを 17 回繰り返して、ようやく昨年 11 月安住の地を神戸に求めることができました。

4 月より CS 神戸にご縁が出来、お蔭さまで家庭の粗大ごみや図書館の常連オジさんにならずに済みました。

地域の皆様の住みよい暮らしに微力ながら貢献できればと思います。団塊シニアの端くれですが、どうぞよろしくお願いいたします。

浜本 美佐子(生きがいしごとサポートセンター 相談員)

4 月から週に 2 回ワラビーで就職支援をしております。相談にいらっしゃる方は、いろいろな考え、思いを持ち、経験や立場なども違います。不安を抱えていることもあるでしょう。その「思い」をしっかりと汲み、同時に求人側の双方が満足できるようなマッチングを目指しています。「私らしく」働き、生きていくためのサポートを「私らしく」できるよう、精一杯取り組んでいきたいと考えております。

伊藤 愛奈(生きがい活動ステーション コーディネーター)

CS 神戸に入って 2 ヶ月、生きがい活動ステーション(「生き活」)がオープンして 2 週間が経ちました。「生き活」は老若男女が入り出すオープンスペースにあるので、毎日いろんな方との出会いがあり、ワクワクする日々を過ごしています。「生き活」は小さなスペースですが、利用される方に「また訪れたい!」と思っていただけるように、地域の方と少しずつつながっていき、大きな希望を持てる場にしたいと思います。皆さま、是非お気軽にお立ち寄りくださいませ!

会員 寄付 お礼 応援いただき、ありがとうございます!

(2014 年 4 月 1 日～6 月 15 日)

今田 忠、岡本 仁宏、佐野 末夫、立田 英雄、當間 克雄、長谷川 京子、安元 邦夫、金芳 外城雄、松下 忠義、足立 勝、小室 邦夫、佐藤 友美子、藤原 和男、坂本 登、岡島 貞雄、檜谷 實、野々村 公子、朝山 日出夫、中島 朋子、石井 真由美、大谷 敏行、根矢 光二、遠田 豊成、中村 保佑、武藤 由美子、子川 幹男、森 功、加藤 正博、川上 範男、尾山 宗久、増金 祐次、伊藤 靖子、北川 浩二、原 祥隆、兵頭 修也、佐藤 正義、平野 久美、毛利 真弓、市井 敬喜、光武 茂、檜垣 忠、島田 誠、深田 達夫、山内 一夫、池田 康二、小崎 竜仁、奥澤 實夫、ヒューマンズキル研究所、NPO 法人ジンジャークラブ、NPO 法人いぶりたすけ愛、NPO 法人ゆうネット (順不同)

柳田 さおり(事務局 総務・庶務)

4 月より常勤職員として主に総務・広報を担当しています。

CS 神戸では、目標のひとつとして活動内容の可視化を掲げており、CS 神戸を応援して下さる皆様に、活動内容や情報をわかりやすくお伝えしていけるよう頑張っていきたいと思います。

今後とも CS 神戸の応援をどうぞよろしくお願いいたします

2014 年度の会費継続をお願いします

市民活動を共に支えてくださる賛助会員(個人・団体)の方々を募集しております。

【会 費】 個人会費：3,000 円/年
団体会費：10,000 円/年

【振込先】 名義

NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸
郵便振替 00950-2-144205

編集後記

昨年 12 月にオープンした「まちづくりスポット神戸」に続き、6 月 2 日には、神戸市六甲道勤労市民センター内に「生きがい活動ステーション」を新たにスタートさせることができました。「人」と「地域」を結ぶ架け橋となるようスタッフ一同頑張っています。

CS 神戸のチャレンジはまだ続きます! (Y)

認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸(CS 神戸)

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104
TEL: 078-841-0310 FAX: 078-841-0312 E-MAIL: info@cskobe.com
URL: <http://www.cskobe.com/>
2014 年 6 月 25 日発行 通巻 74 号 発行人: 中村順子 編集人: 柳田さおり